

# SHIGERU BRAND

VOL.1



## INTERVIEW

☆☆☆ 私たち編集スタッフ2名は、6月22日 都内某レコーディングスタジオに 憧れの天野さんをたずねインタビューさせていただきました。



——今、レコーディング中のアルバムはどんな感じですか…?

ちょっと暗っぽい曲なんだけど、アレンジはけっこう派手になっていて、哀愁があって…メロディーはマイナーメロでそれでいてキラキラしてるというか…そんな感じです。

10曲あるとすれば、8曲ぐらいはサウンドがメインになっていて、アップテンポが多いよ。バラードは3曲入る予定です。

——詞のイメージとかモチーフは…?

詞がね、ちょっと仮に詞をつけて歌ってみて ちょっとずつ直して…という感じで作っているから、最終的にはどうなるかわかんないけど、原点に戻るみたいですよ。

——原点というと N.S.P.時代の初期…?

わりとね…でも年齢も時代も違うから…言葉が違っているんだけど、考え方がストレートになってるんで…昔からN.S.P.を聴いてくれる人は“ああ、なるほどな”と感じると思うよ。

——N.S.P.時代とソロになってからとで 曲作りで 変わったことはありますか…?

グループでやっている時は、「平賀君や中村君には こんな曲が必要かな」…なんて 3人のバランスを考えながら作っていたんだけど、今は歌いたい曲だけで あまりバラエティーにはとんでないけど ほんとうに歌いたい曲だけです。

——レコーディングの今の進行状況は…?

うーん、まだ 20%くらいかな。今日はだいたい 6曲完成するんだけどまだサウンド・オケをとっているところで…コンピュータに譜面を打ち込んで少しずつ直してるでしょう…イメージ通り 少しずつやっているの、けっこう時間がかかっています。

——レコードの発売予定は…?

10月か11月だな。シングルもその頃に…。

——ライブ その他の予定は…?

まだはっきりは決まってないけど、クリスマスコンサートかな…いろんなことに チャレンジしてみたいと思っているよ。

——今は仕事以外には どんな生活ですか…?

とにかく最近では忙しくて…やる事がいっぱいあってもうメロメロという感じだけど、去年はいろんな事をやったよ。スロトル・ムシンとか…ビデオを一日に3本見るとか。“ブロードキャスト・ニュース”という映画の“ウィリアム・ハート”という俳優が好きになったな。

——ファンレターは良く読みますか…?

最近ではバッチリ読んでますよ。定期的にくれる人は良く覚えてますし、詞のヒントになる事もたまにあるよ。

——ヤマハから NSP オフィスを経て SWATへ変わった理由は…?

時代の流れだね。長い間同じ所にいるとけっこう煮詰まっちゃう。決してヤマハが悪いとかではないんだけど…まあ“とらば一ゆ”だね。レコード会社もハミングバードへ変わったでしょう、まわりの人が全部変わっちゃって、心機一転 また気分が変わっているよ。天野音彦という名前も ま それも同じ理由だな。

——最近良く行く街はどこですか…?

渋谷とか新宿。あと最近好きになったのは六本木。レコーディングしてただけど、3時(A.M.)ごろ終わって街へ出るとワーっともり上がってるでしょ。あれがいい。

——ジョイントしたいミュージシャンは…?

特に考えたことないけど…そういう企画もおもしろいね。今までやったことないから やってみたいな。

——NHKのポップスアベニュー(FM)のDJはどうですか…?

あれは、ほんとうにたいへんで、選曲から構成まで全部やるでしょう。資料室でいろいろ調べたりして…。

——奥さまはどんな方ですか…?

(じっくり考えて)普通の女の子。(笑) 奥さんも仕事を持っているし 生活のパターンも考え方も変わらないなあ。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

ずっと待っていてくれて ありがとう。待っていてくれた人は もう少しお待ち下さい。(笑) 10月あたりから派手にやりますからどうかお楽しみに…。よろしくおねがいします。



とても忙しそうなお中でも、気分はリラックスして、好きな音楽を楽しみながらレコーディングにはげんでいらっしゃる様子で活躍がますますのしみ…ファン一同応援しております。☆☆☆

# Letter Line

平賀さんがNSPから去ってしまった知らせを受けた時のショックは、相当なものでした。

人それぞれ進む道があるのは止むを得ない事でも、天野さんはいつになったら歌ってくれるのだろう そんな不安が続く中、FC発足の知らせを頂き飛び上がる程喜んでいました。

NO 038 葛貫良枝

NSPデビュー以来約15年一緒に成長して生きて来た気がする。天野さんの音楽は、今後もNSPにこだわらずやって欲しいです。ただずっと続けて欲しいです。“NSP IS MY MIND”活躍を期待します。 NO 036 長尾 司

FC発足の喜びのお便りが多数届いております。ラーメンライスに緑茶で乾杯しているNO. 15加藤志保サン、嫁入り前のひと仕事を希望のNO. 93の松尾江津子サン、お手伝いお願いします。積極的に盛り上げるように協力して下さい。“レターライン”は、貴方から天野さんへのお便りを紹介するコーナーです。愛のお手紙を期待していま～す。

NSP. 岩手県一関で生まれた小さな流れは、色々な出会いと別れを繰り返し、10年という歳月の中で大きく成長していった。しかし、その一筋の川も中村貴之氏の脱退、ヤマハからの独立、新メンバーの参加、そして平賀和人氏の引退によって、それぞれの海へと流れていった。

そんな一連の出来事を“NSPも解散したのね”なんて簡単な一言でかたずけてほしくない。彼らは、止まらず進み続けてきた。ただ、違うものを求めてしまっただけ・・・NSPの時代は終り、天野滋はソロとして活動を再開した。

今、彼はレコーディングの真最中。平賀氏ふきのとうの細坪氏、伊勢正三氏、そしてあのオフコースにいた鈴木康博氏もなんらかの形で参加してくれる予定。

さらに今回のアルバムでNSP時代のだけでなく、新しいファンをも掴んでくれるはずだ。

『天野滋』はふたたび流れ始める・・・

P・S

“どうも天野滋です。”と本来ならこの欄は本人に書いて頂けるはずでしたが、レコーディングのため無理でした。次回は期待しましょう！



